

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡天神医療リハビリ専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	1,110時間	240時間	
	理学療法学科	夜・通信	240時間	180時間	
	作業療法学科	夜・通信	750時間	240時間	
	鍼灸学科	夜・通信	540時間	240時間	
	鍼灸学科	夜・通信	270時間	135時間	
	柔道整復学科	夜・通信	990時間	240時間	
	柔道整復学科	夜・通信	450時間	135時間	
・理学療法学科、鍼灸学科及び柔道整復学科の夜間部は、平成31年度から募集停止 ・理学療法学科夜間部の平成30年度入学者はなし。(0人)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校のホームページ (http://www.dmr.ac.jp) 学校案内の情報公開に掲載
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡天神医療リハビリ専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校のホームページ (<http://www.dmr.ac.jp>) 学校案内の情報公開に掲載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	都築学園以外の大学の 元学長	H31.1.5～ R3.1.4	法人の運営体制の チェック機能
非常勤	株式会社取締役	R1.10.1～ R3.9.30	法人の運営体制の チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡天神医療リハビリ専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校FD委員会(教職員の資質の向上、教育内容・教育方法・教育支援態勢等の改善組織)の専門部会である教務委員会で、カリキュラム及び授業内容等について検討会を実施して、問題点を分析し改善を図っている。カリキュラムについては、必要があれば学科ごと4月～6月頃に本格的な見直し修正を図っている。</p> <p>シラバスについては、翌年の授業担当者が概定する12月頃に科目担当教員等に対し、学校としての全般的な要修正事項等を通知して作成している。</p> <p>学生に対する周知徹底要領は、在校生については、年度授業予定表及びシラバスを3月中旬頃に、新入生については、カリキュラム、年度授業予定表及びシラバスを入学時のオリエンテーション時間に配布・説明している。</p> <p>またシラバスは、HPで公表するとともに、校内4台のPCで常に見れるようにしている。</p> <p>カリキュラムは、HP及び年度募集要項にて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	学校のホームページ (http://www.dmr.ac.jp) 学校案内の情報公開に掲載
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則において、100～80点を「A」、79～70点を「B」、69～60点を「C」、59点以下を「D」(不合格)としている。成績評価は、定期試験によりその達成度を評定するとともに、学習態度や修学状況を加味して総合的に行っている。また受験資格は、各科目の総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。やむを得ない理由により本試験を受験できなかった者には、追試験及び再試験の機会を与えるも、結果的に合格ラインに到達しない者は進級、卒業を認めていない。</p> <p>入学決定者には、入学前の基本的な予習問題を付与して、スムーズに修学に取り組めるように動機付けをするとともに、クラス担任制により修学面以外の個人的な悩みの相談等にも積極的にあたり、より良い修学環境の維持に努めている。さらに長期欠席者を出さないために、1回でも無断欠席があった場合には、直接本人との話し合いの場を持つように心掛けるとともに、状況により保護者にも連絡してその問題解消に努めている。</p> <p>成績不振者には、講義時間外に学習状況の把握や学習の方法などアドバイスをしている。また学期末の節目の時期には、個人面談及び三者面談を行い、学業(単位)の取得状況を説明して、双方納得のいく形で成績向上、単位取得等に向けて取り組んでいる。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則において、100～80点を「A」、79～70点を「B」、69～60点を「C」、59点以下を「D」(不合格)としている。各期末試験の不合格者にはその旨通知し、学科、科目ごとの成績状況等を教務委員会で分析して、全科目の分布状況を作成し、履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出することで、相対評価での下位4分の1を算出している。また成績下位の者には、補習授業実施の可否等を検討して進級判定の資としている。</p> <p>公表は実施していないが、問題のある学生には年度末に個別に説明し、状況により補習授業を実施している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校のホームページ (http://www.dmr.ac.jp) 学校案内の情報公開に掲載
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校の教育理念である「個性を伸ばし、自信をつけさせ、社会に送り出す。」を方針とし、本校の教育課程を修得した上で、以下の要領をもって学生の卒業を認定するとともに、学習意欲の高揚を図っている。</p> <p>本校入学時のオリエンテーション時に保護者の参加をいただき、卒業の為には、本校設定科目(必修)の全ての単位を取得するとともに、知識、技能はもとより、医療人としての人格形成を目指していることをお伝えしている。また柔道整復学科においては、最終年次に実施される認定実技審査に合格しなければならないことも説明している。</p> <p>最終年次には、激励、学習意欲を促すために再度学生に徹底するとともに、合格ラインに達しなければ卒業はできないことを強く言い聞かせることにより、自ら自学研鑽に励み、強い意志でもって目標を達成する気概の醸成に努めている。</p> <p>また、業者の作成した国家試験模擬試験等を計画的に実施して、授業の補完を実施して実力、自信をつけさせている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学校のホームページ (http://www.dmr.ac.jp) 学校案内の情報公開に掲載

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡天神医療リハビリ専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校ホームページ (http://www.dmr.ac.jp) の学校案内の情報公開に掲載
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,760 単位時間/125 単位	1,200 単位時間 /80 単位	90 単位時 間/6 単位	1,470 単位時間 /39 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		2,760 単位時間/125 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		58 人	0 人	9 人	3 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム及びシラバスについては、毎年教務委員会で分析改善を図っている。 ・年度授業予定表及びシラバスは、在校生については3月中旬頃に、新入生については、入学時のオリエンテーション時間に配布し説明している。またシラバスは、本学HPで公表するとともに、校内4台のPCで常に見れるようにしている。
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・100～80点を「A」、79～70点を「B」、69～60点を「C」、59点以下を「D」不合格としている。成績評価は、定期試験によりその達成度を評定するとともに、学習態度や修学状況を加味して総合的に行っている。 ・受験資格は、各科目総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級は、各学年に定めた単位をすべて学年内に取得しなければならない。 ・卒業は、本校設定科目のすべてを取得するとともに、医療人としての知識、技能の習得はもとより、在籍期間で豊かな人格形成を目指している。

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・各定期試験の後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。 ・成績不振者には、講義時間外に学習状況の把握や学習方法などのアドバイスをしている。また試験の平均点の低い科目については、計画的に補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	11人 (57.9%)	8人 (42.1%)
(主な就職、業界等) 病院（リハビリテーション病院含む。）、デイケア、障害児支援施設			
(就職指導内容) 就職説明会の実施 就職セミナー・労働条件セミナーの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率 94.4%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	3人	5.6%
(中途退学の主な理由) 学業不振(2)、経済的理由(1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 退学者防止目標の設定 個別・三者面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	夜	2,760 単位時間/125 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,140 単 位時間 /28 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,140 単位時間/28 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		3人	0人	9人	3人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム及びシラバスについては、毎年教務委員会で分析改善を図っている。 ・年度授業予定表及びシラバスは、在校生については3月中旬頃に、新入生については、入学時のオリエンテーション時間に配布し説明している。またシラバスは、本学HPで公表するとともに、校内4台のPCで常に見れるようにしている。
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・100～80点を「A」、79～70点を「B」、69～60点を「C」、59点以下を「D」不合格としている。成績評価は、定期試験によりその達成度を評定するとともに、学習態度や修学状況を加味して総合的に行っている。 ・受験資格は、各科目総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級は、各学年に定めた単位をすべて学年内に取得しなければならない。 ・卒業は、本校設定科目のすべてを取得するとともに、医療人としての知識、技能の習得はもとより、在籍期間で豊かな人格形成を目指している。
学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・各定期試験の後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。 ・成績不振者には、講義時間外に学習状況の把握や学習方法などのアドバイスをしている。また試験の平均点の低い科目については、計画的に補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	3人 (50.0%)	3人 (50.0%)
(主な就職、業界等) 病院、整形外科			
(就職指導内容) 就職説明会の実施 就職セミナー・労働条件セミナーの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率 83.3%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 退学者防止目標の設定 個別・三者面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	作業療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,955 単位時間/143 単位	1,530 単位時間 /102 単位	150 単位 時間/10 単位	1,275 単位時間 /31 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,955 単位時間/143 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		35 人	0 人	6 人	2 人	8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム及びシラバスについては、毎年教務委員会で分析改善を図っている。 ・年度授業予定表及びシラバスは、在校生については3月中旬頃に、新入生については、入学時のオリエンテーション時間に配布し説明している。またシラバスは、本学HPで公表するとともに、校内4台のPCで常に見れるようにしている。 	
成績評価の基準・方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・100～80点を「A」、79～70点を「B」、69～60点を「C」、59点以下を「D」不合格としている。成績評価は、定期試験によりその達成度を評定するとともに、学習態度や修学状況を加味して総合的に行っている。 ・受験資格は、各科目総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。 	
卒業・進級の認定基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・進級は、各学年に定めた単位をすべて学年内に取得しなければならない。 ・卒業は、本校設定科目のすべてを取得するとともに、医療人としての知識、技能の習得はもとより、在籍期間で豊かな人格形成を目指している。 	
学修支援等	
<ul style="list-style-type: none"> ・各定期試験の後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。 ・成績不振者には、講義時間外に学習状況の把握や学習方法などのアドバイスをしている。また試験の平均点の低い科目については、計画的に補習を実施している。 	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	8人 (44.4%)	10人 (55.6%)
(主な就職、業界等) 病院（リハビリテーション病院含む。）、介護老人保健施設			
(就職指導内容) 就職説明会の実施 就職セミナー・労働条件セミナーの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率 100%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	4 人	8.9%
(中途退学の主な理由) 身体的理由(2)、学業不振(1)、体調不良(1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 退学者防止目標の設定 個別・三者面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	鍼灸学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,685 単位時間/95 単位	2,025 単位時間 /75 単位	単位時間 /単位	660/単位 時間/20 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,685 単位時間/95 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		53人	0人	6人	5人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム及びシラバスについては、毎年教務委員会で分析改善を図っている。 ・年度授業予定表及びシラバスは、在校生については3月中旬頃に、新入生については、入学時のオリエンテーション時間に配布し説明している。またシラバスは、本学HPで公表するとともに、校内4台のPCで常に見れるようにしている。
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・100～80点を「A」、79～70点を「B」、69～60点を「C」、59点以下を「D」不合格としている。成績評価は、定期試験によりその達成度を評定するとともに、学習態度や修学状況を加味して総合的に行っている。 ・受験資格は、各科目総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級は、各学年に定めた単位をすべて学年内に取得しなければならない。 ・卒業は、本校設定科目のすべてを取得するとともに、医療人としての知識、技能の習得はもとより、在籍期間で豊かな人格形成を目指している。
学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・各定期試験の後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。 ・成績不振者には、講義時間外に学習状況の把握や学習方法などのアドバイスをしている。また試験の平均点の低い科目については、計画的に補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	5人 (29.4%)	12人 (70.6%)
(主な就職、業界等) 整骨院、はりきゅう整骨院、整形外科			
(就職指導内容) 就職説明会の実施 就職セミナー・労働条件セミナーの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率 94.1%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52 人	5 人	9.6%
(中途退学の主な理由) 学業不振(2)、体調不良(1)、家庭の理由(1)、子供の病気(1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 退学者防止目標の設定 個別・三者面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	鍼灸学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,685 単位時間/95 単位	720 単位 時間/26 単位	単位時間 /単位	180 単位 時間/4 単 位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			900 単位時間/30 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		21人	0人	6人	5人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム及びシラバスについては、毎年教務委員会で分析改善を図っている。 ・年度授業予定表及びシラバスは、在校生については3月中旬頃に、新入生については、入学時のオリエンテーション時間に配布し説明している。またシラバスは、本学HPで公表するとともに、校内4台のPCで常に見れるようにしている。
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・100～80点を「A」、79～70点を「B」、69～60点を「C」、59点以下を「D」不合格としている。成績評価は、定期試験によりその達成度を評定するとともに、学習態度や修学状況を加味して総合的に行っている。 ・受験資格は、各科目総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級は、各学年に定めた単位をすべて学年内に取得しなければならない。 ・卒業は、本校設定科目のすべてを取得するとともに、医療人としての知識、技能の習得はもとより、在籍期間で豊かな人格形成を目指している。
学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・各定期試験の後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。 ・成績不振者には、講義時間外に学習状況の把握や学習方法などのアドバイスをしている。また試験の平均点の低い科目については、計画的に補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	7人 (53.8%)	6人 (46.2%)
(主な就職、業界等) 鍼灸整骨院、整骨院、健康クラブ、歯科医院経営			
(就職指導内容) 就職説明会の実施 就職セミナー・労働条件セミナーの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率 100%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38 人	3 人	7.9%
(中途退学の主な理由) 学業不振(2)、身体的理由(1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 退学者防止目標の設定 個別・三者面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,760 単位時間/105 単位	2,010 単 位時間 /81 単位	単位時間 /単位	750 単位 時間/24 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,760 単位時間/105 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		28人	0人	6人	10人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム及びシラバスについては、毎年教務委員会で分析改善を図っている。 ・年度授業予定表及びシラバスは、在校生については3月中旬頃に、新入生については、入学時のオリエンテーション時間に配布し説明している。またシラバスは、本学HPで公表するとともに、校内4台のPCで常に見れるようにしている。
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・100～80点を「A」、79～70点を「B」、69～60点を「C」、59点以下を「D」不合格としている。成績評価は、定期試験によりその達成度を評定するとともに、学習態度や修学状況を加味して総合的に行っている。 ・受験資格は、各科目総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級は、各学年に定めた単位をすべて学年内に取得しなければならない。 ・卒業は、本校設定科目のすべてを取得するとともに、医療人としての知識、技能の習得はもとより、在籍期間で豊かな人格形成を目指している。
学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・各定期試験の後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。 ・成績不振者には、講義時間外に学習状況の把握や学習方法などのアドバイスをしている。また試験の平均点の低い科目については、計画的に補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 鍼灸整骨院、整骨院、整形外科医院			
(就職指導内容) 就職説明会の実施 就職セミナー・労働条件セミナーの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率 100%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29 人	4 人	13.8%
(中途退学の主な理由) 学業不振(2)、身体的理由(2)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 退学者防止目標の設定 個別・三者面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,760 単位時間/105 単位	590 単位 時間/27 単位	単位時間 /単位	330 単位 時間/10 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			920 単位時間/37 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		5人	0人	6人	10人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム及びシラバスについては、毎年教務委員会で分析改善を図っている。 ・年度授業予定表及びシラバスは、在校生については3月中旬頃に、新入生については、入学時のオリエンテーション時間に配布し説明している。またシラバスは、本学HPで公表するとともに、校内4台のPCで常に見れるようにしている。
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・100～80点を「A」、79～70点を「B」、69～60点を「C」、59点以下を「D」不合格としている。成績評価は、定期試験によりその達成度を評定するとともに、学習態度や修学状況を加味して総合的に行っている。 ・受験資格は、各科目総授業時間の2/3以上の出席を条件としている。
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級は、各学年に定めた単位をすべて学年内に取得しなければならない。 ・卒業は、本校設定科目のすべてを取得するとともに、医療人としての知識、技能の習得はもとより、在籍期間で豊かな人格形成を目指している。
学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・各定期試験の後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。 ・成績不振者には、講義時間外に学習状況の把握や学習方法などのアドバイスをしている。また試験の平均点の低い科目については、計画的に補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	6人 (85.7%)	1人 (14.3%)
(主な就職、業界等) 整骨院			
(就職指導内容) 就職説明会の実施 就職セミナー・労働条件セミナーの実施			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国家試験合格率 100%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	4 人	22.2%
(中途退学の主な理由) 家庭的理由(2)、経済的理由(1)、学業不振(1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 退学者防止目標の設定 個別・三者面談の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法 学科(昼)	200,000 円	800,000 円	500,000 円	
理学療法 学科(夜)	400,000 円	500,000 円	400,000 円	
作業療法 学科	200,000 円	800,000 円	500,000 円	
鍼灸学科 (昼)	200,000 円	800,000 円	400,000 円	
鍼灸学科 (夜)	400,000 円	700,000 円	700,000 円	
柔道整復 学科(昼)	200,000 円	800,000 円	400,000 円	
柔道整復 学科(夜)	400,000 円	700,000 円	700,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校のホームページ (http://www.dmr.ac.jp) 学校案内の情報公開に掲載
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>1 方針</p> <p>学校自ら行う「自己評価」の結果を踏まえ、学校教職員代表者及び選出された学校関係者評価委員の連携・協力を得て、年1回以上の委員会を開催し、当該学校の評価並びに理解促進を図り、学校運営の改善に資する。</p> <p>2 評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育理念・目的・育成人材像 (ディプロマポリシー) ・学校運営 ・教育活動 ・学修成果 ・学生支援 ・教育環境 ・学生の募集と受け入れ ・財務 ・法令等の遵守 ・社会貢献・地域貢献

<p>3 評価委員会の構成 医療関係者×2名 地域関係者×1名 高校関係者×1名 学生保護者×1名 学校卒業者×1名 以上、計6名とする。</p> <p>4 評価結果の活用方法 学校関係者評価の指摘事項については、早期に改善可能な事項は10月に改善実行を行ない、その他の事項は来年度をめどに改善する。また、指摘事項の改善実行責任者は各関係学科長及び事務担当の各課長とする。</p>																							
<p>学校関係者評価の委員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>御所ヶ谷ホームクリニック 院長 福岡市中央区医師会 元会長</td> <td>2019. 11. 1～ 2021. 10. 30</td> <td>企業</td> </tr> <tr> <td>福岡市中央区自治会 会長</td> <td>〃</td> <td>地域住民</td> </tr> <tr> <td>福岡第一高等学校 教諭</td> <td>〃</td> <td>高校</td> </tr> <tr> <td>有限会社いきいきリハビリケア 代表取締役</td> <td>〃</td> <td>企業</td> </tr> <tr> <td>第14・17期 作業療法学科学生保護者</td> <td>〃</td> <td>保護者</td> </tr> <tr> <td>第4期作業療法学科卒業生</td> <td>〃</td> <td>卒業生</td> </tr> </tbody> </table>			所属	任期	種別	御所ヶ谷ホームクリニック 院長 福岡市中央区医師会 元会長	2019. 11. 1～ 2021. 10. 30	企業	福岡市中央区自治会 会長	〃	地域住民	福岡第一高等学校 教諭	〃	高校	有限会社いきいきリハビリケア 代表取締役	〃	企業	第14・17期 作業療法学科学生保護者	〃	保護者	第4期作業療法学科卒業生	〃	卒業生
所属	任期	種別																					
御所ヶ谷ホームクリニック 院長 福岡市中央区医師会 元会長	2019. 11. 1～ 2021. 10. 30	企業																					
福岡市中央区自治会 会長	〃	地域住民																					
福岡第一高等学校 教諭	〃	高校																					
有限会社いきいきリハビリケア 代表取締役	〃	企業																					
第14・17期 作業療法学科学生保護者	〃	保護者																					
第4期作業療法学科卒業生	〃	卒業生																					
<p>学校関係者評価結果の公表方法</p> <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校のホームページへ掲載 (http://www.dmr.ac.jp)</p>																							
<p>第三者による学校評価 (任意記載事項)</p> <p>平成28年度に一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の教育評価認定審査を受審し、審査結果「認定」を受けた。 (有効期間：2017年4月1日～2022年3月31日)</p>																							

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校のホームページへ掲載 (http://www.dmr.ac.jp)</p>
--